

新型コロナワクチン接種後の健康状態に関する継続的な検証 及び情報公開を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の流行に際し、国は新型コロナワクチン接種を推進し、多くの国民が接種を受けてきた。厚生労働省は、新型コロナワクチンについて重症化予防等の効果を認めており、感染症対策において一定の役割を果たしてきたとしている。

一方で、接種後の健康状態について不安や苦痛を訴える方々が存在していることから、その声にも丁寧に耳を傾け、健康影響の実態について継続的かつ客観的に検証していくことが重要である。

新型コロナワクチンは、我が国において大規模に接種が行われたものであり、その有効性及び安全性については、今後も科学的知見に基づく検証を継続するとともに、その結果を国民に分かりやすく示すことが、国民の理解と行政への信頼を確保する上で必要である。

よって、国におかれては、新型コロナワクチン接種後の健康状態について、科学的知見に基づく継続的かつ客観的な調査及び検証を行い、分析方法や調査上の限界等を含め、その結果を広く国民に分かりやすく公表するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年9月28日

鳴門市議会